

2021年12月2日

月島テクノメンテサービス株式会社

月島機械株式会社

横浜市「南部汚泥資源化センター包括的管理委託」の契約を締結

月島機械株式会社（社長：福沢 義之）の100%子会社である月島テクノメンテサービス株式会社（社長：伊藤 道夫、以下「TTMS」）は、横浜市と南部汚泥資源化センターにおける6年間の包括的管理業務（以下、本業務）に関する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本業務は、全国で委託される包括的維持管理業務の中でも最大級の案件となります。横浜市南部汚泥資源化センターの運転管理、日常点検、定期点検、薬品・燃料等のユーティリティ調達および一部施設の補修、当該センターへ送泥する同市内7箇所の水再生センター等の送泥施設及び送泥管の点検といった広範囲な業務を、包括的に管理運営するものです。

上下水道事業では、技術者の高齢化や施設の老朽化に対応するため、限られた予算内でより効率的な運営が求められていることから、施設の維持管理においては「民間への業務委託」が年々拡大しています。それら業務の受託においては、施設建設のみならず維持管理業務の各種実績と運転ノウハウが重要な要素となっています。

月島機械グループは、上下水道施設向けの機器・プラントの納入実績に加え、維持管理や事業運営に関しても多くの実績を有しています。施設の設計・調達・建設・維持管理の一連のバリューチェーンを保有している強みを活かした「ライフサイクルビジネス(*1)」を展開し、お客様が抱える上下水道事業の課題に対応するため、数多くの包括的管理業務やPFI・DBO事業などを手掛けてまいりました。

本業務の受託者選定においては、技術提案書と入札価格の双方を総合的に評価する「総合評価一般競争入札」が採用され、TTMSの技術力と価格提案力が評価され、落札・契約に至りました。これからも水環境事業におけるグループ全体のノウハウ、実績を最大限に発揮し、「ライフサイクルビジネス」を積極的に推進してまいります。

***1 ライフサイクルビジネス**

：機器・設備の提供に加え、運転管理（オペレーション）・機器の整備（メンテナンス）などのサービス、ユーティリティ（電力・水・燃料・薬品など）の調達、汚泥有効利用などを包括的に複数年にわたって受託する業務の総称。O&M包括委託・複数年契約、PFI・DBO事業等を含む。

【案件概要】

業務名称	南部汚泥資源化センター包括的管理委託
業務履行場所	横浜市環境創造局 南部汚泥資源化センターほか7か所
業務履行期間	令和4年4月1日から令和10年3月31日まで（6年間）
受注金額	¥ 6,840,000,000（税抜）
業務範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 南部汚泥資源化センター施設の維持管理業務<ul style="list-style-type: none">－ 受泥設備、濃縮設備、消化タンク設備、脱硫設備、消化ガス設備、脱水設備、焼却設備、ガス発電・配電設備、分離液貯留設備、沈砂・スクリーンかす洗浄設備、分離液処理設備 ほか・ 水再生センター等送泥設備の維持管理業務・ 送泥管路設備の維持管理業務

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 経営統括本部 広報室
TEL 03-5560-6503

《包括的維持管理業務に関するお問い合わせ先》

月島テクノメンテサービス株式会社 営業本部営業推進部
TEL03-5245-7150

以 上